

報道関係者各位

— 川崎市市民ミュージアム 映像ホール 10月～12月の特集上映 —

戦後、社会性の強い独自の作風を貫いた名監督 開館30周年記念・収蔵作品名品集 新藤兼人特集



『人間』



『狼』

川崎市市民ミュージアムの映像ホールでは、2018年10月6日(土)から特集上映「開館30周年記念・収蔵作品名品集 新藤兼人特集」を開催します。

新藤兼人は、作家の独立性と自由な創造活動を追求し、映画監督・吉村公三郎や俳優・殿山泰司らと1950年に日本の独立プロダクションの先駆けのひとつである「近代映画協会」を設立。社会性の強い独自の作風を貫きながら、多くの作品を精力的に作り続けました。

開館30周年を記念して、当館の収集重点コレクションである独立プロダクション作品の中から新藤兼人監督作を取り上げ、所蔵フィルムを中心に計10作品を上映。全作貴重なフィルム上映でお届けします。

■新藤兼人(脚本家・映画監督)プロフィール

1912年4月22日、広島県生まれ。1934年、新興キネマ京都撮影所現像部に入社、翌年東京撮影所の美術部に移籍。のちに脚本部に異動し、溝口健二に師事。戦後は松竹大船撮影所の脚本部で吉村公三郎、渋谷実、木下恵介らの脚本を担当し、高い評価を受けた。1950年に松竹を退社し、近代映画協会を創立。翌年念願の企画だった『愛妻物語』(1951)で監督デビューを果たす。以降、脚本作、監督作は多数に及び、1961年に『裸の島』がモスクワ国際映画祭でグランプリを受賞するなど、受賞歴多数。98歳のときに監督した『一枚のハガキ』(2011)を最後に、引退を表明。2012年5月29日、死去。100歳。



★PICK UP 『原爆の子』 1952年/モノクロ/35mm/99分

近代映画協会としての自主製作作品第1作目。
サンフランシスコ平和条約の発効後すぐに広島市と市民の協力を得て、劇団民藝との共同製作で作られた。

10月6日(土) 11:00
11月18日(日) 14:00
12月9日(日) 14:00

開館 30 周年記念・収蔵作品名品集 新藤兼人特集

<開催概要>

【日程】2018年10月6日(土)～12月9日(日)の土日 11:00/14:00(入替制/15分前開場)

※10月27日(土)・28日(日)、11月3日(土・祝)・4日(日)・24日(土)・25日(日)は休映。

【料金】1プログラムにつき 一般 600 円、65 歳以上・大高生 500 円、小中学生 400 円

※未就学児・障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

【会場】川崎市市民ミュージアム 1F 映像ホール(全席自由)

【申込】当日 1F 総合案内で 10:00～15:00 までチケットを販売(12:00～13:00 は販売休止)

※各回先着 270 名。満員になり次第販売終了。

※前売り券はありません。

●上映作品・スケジュール詳細は別添のチラシをご確認ください。

●チラシに使用している画像はすべてご提供可能です。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

<川崎市市民ミュージアム 映像ホール>



2016年4月に4K対応のデジタルシネマプロジェクター、シネマサーバー、7.1ch サラウンドシステムを導入。デジタル映像の上映環境の整備に加えて、スクリーンも新たに張り替え、従来のフィルム上映作品についてもより美しく迫力のある劇場鑑賞をお楽しみいただけるようリニューアルしました。縦幅3mの大スクリーンで名画をご堪能ください。

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)

■開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)

■休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■観覧料：企画展、アートギャラリーは展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。

※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

※20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス

下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

・武蔵小杉駅(JR南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)よりバスで約10分

・武蔵溝ノ口駅(JR南武線)・溝ノ口駅(東急田園都市線・大井町線)よりバスで約20分

・JR川崎駅よりバスで約40分

【プレスリリースのお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 坂下

TEL: 044-754-4500(休館日を除く9:30～17:00) FAX: 044-754-4533

MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/> *指定管理者:アクティオ・東急コミュニティー共同事業体